

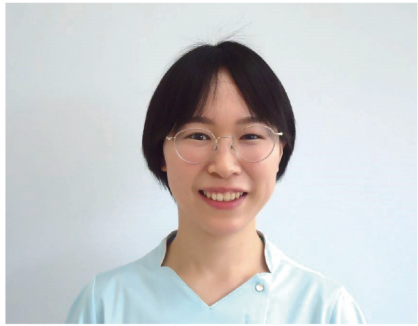


新しいスタッフの紹介

今春から、歯科医師が増えました。
診察日は不定期ですが、よろしくお願ひします。



歯科医師 川又 侑羽希 先生



誕生日 1月5日 (やぎ座)
血液型 A 型
趣味 映画鑑賞
特技 少林寺拳法 初段

みなさまへ

患者さんに寄り添った治療をしたいと思っています。
困ったことがあれば気軽に声がけください。

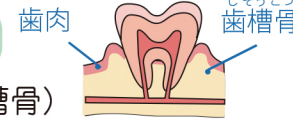
休診日のお知らせ

6月 6日(木) 午後休診
7日(金) 休診
13日(木) 休診
20日(木) 午後休診
27日(木) 休診

7月 3日(水) 休診
11日(木) 午後休診
13日(土) 15:00～休診
17日(水) 休診
25日(木) 午後休診

予定は変更になる場合がございます

検査の必要性



歯を支える骨(歯槽骨)の吸収具合やその形を把握することで、歯周病の進行度や回復具合、歯肉内の歯石の有無も確認します。また、レントゲンと照らし合わせることで歯ぐきの状態が立体的に把握できます。

その後の歯石除去や歯周外科処置を行う時の目安にもなります。

使う器具

ポケットプローブ
先端に目盛りが付いています。



ごく軽いかで、歯周ポケットに挿入します。挿入時、チクチクと感じる時もあります。

検査項目

①ポケット検査(精密検査6点法)



当院では6点計測を採用しています。

0～4mm・・・正常
4～6mm・・・軽度
6mm～・・・重度

②出血の有無

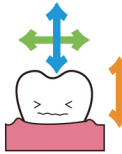
炎症があると出血します。

③膿の有無

進行すると膿を排出するようになります。

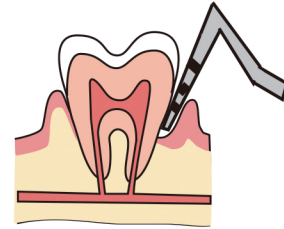
④歯の動揺度

0度・・・なし
1度・・・前後に動く
2度・・・前後左右に動く
3度・・・前後左右上下に動く



⑤根分岐部病変

歯根が2つ以上ある歯の股の部分にまで歯周病が進行し、細菌感染による炎症が起こっている状態。骨吸収も起こします。



あとなぎ

日本人が歯を失う原因の第一位は歯周病で、30代以上の3人に2人が罹患していると言われています。この病気の恐ろしいところは自覚症状がほとんどなく、気づいた頃にはかなり症状が進行しているケースも多いです。

近年、健康寿命の延伸を図る上で口腔の健康の保持・増進が重要となっており、当院でも定期的な歯科検診をおすすめしています。

